

第4回相模原市行財政構造改革本部会議 会議録

日時 令和2年1月28日(火)午前10時～

会場 第1特別会議室

出席者 市長、下仲副市長、隠田副市長、森副市長、教育長、総務局長、企画財政局長、企画財政局理事、危機管理局长、市民局長、健康福祉局長、こども・若者未来局長、環境経済局長、都市建設局長、緑区長、中央区長、南区長、議会局長、教育局長、消防局長

開会のあいさつ

・本日の本部会議は、現在の取組状況を報告し、構成員間で共有するために開催したもの。

1 本市の基準財政モデル(試算)について

○ 事務局より、議題について資料に基づき説明。

・本市の普通交付税算定における基準財政需要額により、目的別経費の基準財政モデルを試算した。

令和2年度の当初予算案における一般財源をベースに、令和元年度の基準財政需要額を用いて基準財政モデルの試算を行ったところ、留保財源は413億円となった。また、この留保財源が実際に同予算案においてどのように使われているかを参考としてお示しした。

・次回以降の本部会議では、この留保財源の配分にも関わる「本市が特に重点的に力を入れる分野」等についてもご議論いただきたい。

<主な質疑等>

基準財政モデルは令和2年度の当初予算案をベースに試算したとのことだが、特定の年度だけではなく、過年度の検証も必要なのではないか。

過年度の検証については検討する。

事業費ベースではなく一般財源ベースで試算しているのはなぜか。

普通交付税の算定に用いる基準財政需要額は一般財源であるため、基準財政モデルは一般財源ベースで設定することを想定しているためである。

2 公共施設の見直しについて

○ 事務局より、議題について資料に基づき説明。

<主な質疑内容等>

元々、公共施設マネジメント推進プランは地区ごとの施設配置の方向性を示してい

るものだが、本改革プランにおける見直しのとの関係は。

本改革プランにおける公共施設の見直しについては、施設の種別により検討している。

地区ごとに施設配置がどうなるかについても検証する必要があると考える。

3 市民・職員からの意見・提案募集の実施状況について（中間報告）

- 事務局より資料に基づき、意見・提案の提出状況等について説明。また、募集期間を3月31日（火）まで延長する予定である旨を説明し、了承を得た。

4 オープンハウス型説明会の実施について

- 事務局より資料に基づき、実施の目的、時期、場所、方法等について説明。

5 行財政構造改革本部研修「SIM熊本2030」の開催について

- 事務局より資料に基づき、研修の目的や内容等について説明。

6 その他

これまでの説明を聞くと、歳出削減に係る内容が多い印象を受ける。歳入確保の視点についてもしっかり記述すべきと考える。今後、どういう形で一般財源を生み出し、持続可能な行財政構造を構築していこうとしているのか伺う。

今回お示した基準財政モデルは、主に歳出の観点から見るものであるが、歳入面も大変重要な観点であることから、その確保策について、今後検討を進めていきたい。

局の中で事業の優先順位をつけることとなった場合、例えば高齢者の施策と障害者の施策との間で優先順位をつけるということになるかと思うが、局としてこれを行うことは難しい。

難しさはあるだろうが、各費目における活用可能な額の範囲内に収まるよう優先順位をつけていただきたいと考えている。

以 上